競　技　注　意　事　項

1　本競技会は 2026 年度日本陸上競技連盟規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2　アスリートビブスは、中学生の競技者は中体連、高校生の競技者は高体連がそれぞれ指定したものを、それ以外の競技者は本大会本部が用意したものを胸と背につけること。（跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部いずれか一方でよい。）
また、トラック競技に出場する選手は右腰のやや後ろに腰ナンバー標識をつけること。
腰レーンナンバー標識は、中学・高校・クラブチームは各自で準備をすること。それ以外の選手は貸出する。

3　トラック種目に出場する選手は招集所で、フィールド種目に出場する選手は各競技場所で行う。
招集所はスタンド下ロビー内のトイレ側に設ける。招集は、別紙競技順序に記載されている招集時間で行う。必ず競技者本人が点呼を受け、アスリートビブスを見せること。ただし、招集時に本人が他の種目の競技中である場合に限り代理人の点呼を認める。

4　走路順および試技順は、アスリートランキング記載のとおりとする。ただし、高校 100m 決勝は、大会総務が抽選により走路順を決定する。

5　5000m は、スタート後 20 分が経過した時点でレースを打ち切る。

6　本競技場は全天候舗装であるので、スパイクシューズを使用する場合、ピンの長さは 9mm 以下とする。走高跳・やり投は 12mm 以下とする。
また、競技に使用する靴底の厚さは以下の表に記載されたものでなければならない。
（日本陸上競技連盟競技規則 TR5.13.3 による）

種目	トラック種目	跳躍種目
最大の厚さ	20mm	20mm

7　リレーは長岡市内高校のみで行う。リレーのオーダーは、リレーオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の 1 時間前までに記録情報に提出すること。リレーオーダー用紙は学校受付で配布された封筒に入れたものを使用する。

8　走高跳、棒高跳のバーの高さ及び上げ方は、当日審判長が決定する。

9　投てき競技の用具は、各自が持参したものを使用してもよい。ただし、9 時までに大会本部で検査を受けること。

10　スパイクシューズを履いたまま建物の中（ホール・階段・廊下等）に絶対に入らないこと。

11　高校生 100m は、タイムレース予選ののち、決勝レースを行う。ただし、中学生は行わない。

12　フィールド種目はトップ 8 を行う。

13　競技に支障がない範囲で本競技場内（バックストレート）の使用を認める。練習器具（ミニハードル、メディシンボール等）を使用した練習は禁止とする。投てき練習も禁止する。

14　競技中に発生した傷害・疾病については主催者（医務係）において応急手当はするが、その後の処置については責任を負わないので、競技に出場する際は十分注意すること。

事前連絡事項

・場所取りは 11 月 2 日（月）以降にお願いします（サイド、芝生スタンド等)。正面スタンドのテント設営はご遠慮ください。
・横断幕を張る場所は、バックストレート側芝生スタンド奥のみとさせていただきます。
・プログラムは作成しません。招集開始・完了時刻はアスリートランキングの添付ファイルにて事前にご確認ください。
・バックストレート側奥の道路でのウオーミングアップは禁止します。
・ごみはすべて持ち帰りをお願いします。
・テント等で使用したペグは必ず持ち帰ってください。
・

【中高へのお願い】
・長岡市内の各校に補助員を依頼します。補助員（案）は後日アスリートランキングの添付ファイルにてご連絡をさせていただきます。手の空いた生徒は積極的にご協力ください。
・会場設営は 11 月 1 日（日）駅伝終了後または 2 日（月）放課後に行います。長岡市内高校には割り振りを後日送らせていただきます。

【競技役員への連絡】
・当日の昼食は主催者側で準備をいたします。
・審判手帳はシールにて対応します。各主任よりお受け取りください。